

● 出演者プロフィール

河 正雄(ハ・ジョンウン)氏



1939年東大阪市で在日韓国人2世として生まれ、秋田県仙北市生保内に移り住み、秋田工業高校(昭和34年機械科)卒業。

埼玉県川口市で株式会社「かわもと」を創立。

美術品コレクター、企業が文化・芸術活動を支援するメセナ活動家としても名高い。

父親の生地に近い韓国光州市の市立美術館に美術品数千点を贈り名誉館長を務め、1995年ソウル市名誉市民になっている。

小学校から高校まで過ごした秋田県にも、仙北市立田沢湖図書館の河正雄文庫、2004年秋田工業高校創立100周年記念にブロンズ「明日の太陽像」寄贈。2002年「韓国と日本、二つの祖国を生きる」出版。

順 弘子さん



秋田県南秋田郡八郎潟町出身。

15歳で日本テレビ「スター誕生」秋田県大会で優勝、全国決勝大会出場を契機に上京し、作曲家遠藤実氏のレッスンを受け、昭和53年に「もどって来ました新宿へ」でデビュー。その後数々のシングルやLPを発表。幅広いジャンルをこなす歌手として全国ライブを展開している。作曲遠藤実氏、作詞「星影のワルツ」などで有名な白鳥園枝氏による秋田のご当地ソング「秋田旅愁」が話題になった。2012年「みちのく田沢湖角館/クニマスロマン~夢の橋」発売。

ブラッキー氏



ブラッキーという名前は本名黒木から。

学生時代アルバイト先のホテルでのショー出演をきっかけにこの世界へ突入。体操と音楽の経験を活かし、二十余年。トランポリンのフライングモンキーSASUKEのメンバー、アクロバットショーのブラッキー&ノリのアクロ8、さらにワンマンバンドでも活動中のマルチタレント。

NHK「忍たまがやってくる」、BS「フルーツサンデー」「ふれあいホール」TBS「筋肉番付」「体育王国」、「裸の大将放浪記」(舞台・TV)、「矢沢永吉 東京ドームコンサート」、その他数々の舞台、イベント会場に出演。

「見かけだけでは分からない親しみやすい身軽なデブ」(ブラッキーHPより)。

田口 徹氏



シンガーソングライター。秋田市出身、昭和39年秋田工業高校電気科卒業。ギター弾き語りを原 荘介氏(秋田県大館市出身)に師事。全日本シャンソンコンクール入賞、その他コンクールに優勝・入賞。劇団「華」に所属し、CSテレビドラマ等に出演。ミュージカルキッズ公演他に主演・出演。

東京労音「大塚博堂伝説」シリーズ他にレギュラー出演。

シャンソン・日本の歌を始め、金子みすず等オリジナル曲の他、ライフワークとして故・大塚博堂の曲を歌い続ける。

ギターを手に全国各地で音楽活動を行っているところから「歌の旅人」と呼ばれている。

秋田市土崎が攻撃された日本で最後の空襲に、平和への想いを重ねた「哀しみの池」が発売されている。

ライブ・コンサート出演の他、作詞・作曲・歌謡教室講師・歌謡大会審査員他、司会・舞台制作等を手がける。

(社)日本歌手協会会員